



ロータリーを实践してみんなに豊かな人生を

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：大塚 博巳 副会長：池ノ谷 敏正 幹事：森下 敏顯 副幹事：鈴木 舜光



【富士山】

写真提供：櫻井 龍太君

第2031回

- ソング それでこそロータリー
- ソングリーダー 松田 真彦君

会長報告

大塚 博巳君

国際ロータリー第2620地区地区大会につきましては、ご参加の皆さんお疲れ様でした。



皆様ご承知の通り

2月7日からの大雪で東海地方も「新東名高速道路が通行止め」等、大きな影響を受けました。1日目(2/8)の本会議には山梨地区の会長・幹事を始め47名が欠席、そして、2日目(2/9)は「会員が相当数の欠席」というアクシデントでありましたが、地区大会そのものは無事終了いたしました。

当クラブにおいても19名の登録、当日「雪の影響で1名が東京から帰れず欠席」と幹事宛て、その行程(道路)状況を何度も連絡を戴きました。そして当初から欠席予定であったメンバーが「都合がついたから・・・」と急遽参加してくれました。また登録者が欠席の為、代理出席者を依頼してくれたおかげで、登録数全員(19名)で参加できました。それぞれの会員の皆さんの、「報・連・相」(組織のマナー)を徹底する考え方、また「ロータリアンとしての熱意」等を感じ感激いたしました。

今日、あえてお伝えしたいのは、「欠席・遅刻・早退等の連絡、そして少しでも都合をつけてロータリーの活動に参加する」という姿勢・考え方は、「ロータリー」の活動のみでなく、「社会でのルール・マナー」というものがしっかり確率されている」ということです。(高く評価できるものであります。)

これからも全員で実践し、ロータリーの多様性を発揮して参りたいと思います。

さて「2014 ソチ冬季五輪」が2月7日から開催しました。時差の関係で主な競技は深夜帯になります。2月23日の閉会式まで、国民は「目をこすりながら、テレビにかじりつく場面」があることでしょう。

そんな中、日本のメダル1号・2号が今朝のニュースで報道されました。

スノーボード男子ハーフパイプの種目で、平野歩夢(15歳)銀メダル、平岡卓(18歳)銅メダルという快挙でした。メダル獲得のインタビューにも「実に淡々と爽やかに・・・」答えており、新世代の凄さを感じました。

さて「スノーボード競技」は私たちの世代になじみが薄いので調べてみました。

1、歴史

- ①1800年代にすでに1枚の板で雪山を滑っていたとも言われていますが、アメリカ合衆国で1963年にトム・シムスがスケートボードを加工して作ったスキーボード等、雪上サーフィンの玩具などが起原とされている
- ②1983年：世界初の「国協会」として「日本スノーボード協会」が発足。「第一回全日本スノーサーフィンチャンピオンシップ」開催。
- ③1985年：ヨーロッパと北アメリカでもスノーボード協会が発足。トム・シムスが、ロジャー・ムーアの代わりにスノーボードのスタントを務めた映画、ジェームズ・ボンドの「007 美しき獲物たち」が公開される。
- ④1989年：ヨーロッパと北アメリカでもスノーボード協会が発足。
- ⑤1990年：初めてのプロ協会がスイスで発足。アジア、ヨーロッパ、北アメリカで、ワールドカップ大会16戦が再開される。
- ⑥1998年：長野冬季オリンピックより、アルペンスタイルのパラレル大回転、フリースタイルのハーフパイプが正式種目となる。

⑦2006年：トリノ冬季オリンピックより、スノーボードクロスが正式種目となる。

2. 用具

①表面と滑走面が一体となった一枚の板に、バイディングが直接取り付けられるようになっていて、進行方向に対してバイディングを、斜めまたは横向きに取り付けたもの。

※バイディングはボードとブーツを固定する器具で、ボードに直接取り付ける。

②ボード

板の長さは、一般的に身長から15cm～20cmを引いた長さが最適。

1980年代後半、スキー製造技術を取り入れてから技術的に急成長した。

一般的には、何層かのファイバーグラスで覆われた木のコア（心材）、ポリエチレンプラスチックのベース、その両サイドに金属エッジという、スキーと同じ構造が主流になっている。

残りの種目・選手にも期待をしたいと思います。以上、会長報告といたします。

■ 幹事報告 鈴木 舜光君

・森下幹事より
地区大会の写真が届いております。

■ 出席報告 河井 宏文君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29/41 70.73%	36/41 87.80%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○菅原君 ○鈴木邦君 ○間野君 ○森下君
江崎晴君 大杉君 鈴木透君 仲田晃君
平野君 松葉隆君 村松君 柳原君

■ ビジター

加藤 博一君(静岡西)

■ スマイルBOX 河井 宏文君

・9日の地区大会に前日の40数年ぶりの大雪にあってしまい、欠席をしてしまいました。無事に帰藤できました事の感謝と欠席のおわびにNIKONIKOをさせて戴きます。

土屋 富士子君

スマイル累計額 126,000円

■ ロータリーの友紹介 小西 啓一君



【2月号】

2月のテーマ 世界理解月間

R I 指定記事

3頁

ポール・ハリスの夢を映す国際大会

39頁

GROBAL OUTLOOK ポリオ撲滅

47頁

管理委員長の思い ポリオ 最後のハードル

《横組み》

7頁-19頁

2012-13 R1 会長 田中作次さん
国際親善の輪

20頁-21頁

学友会

学友会とは 21頁右下記事

22頁-27頁

人頭分担金 現在53ドル 1ドルアップ

28頁-35頁

東日本大震災の支援

各地区ガバナーの考え

よねやまだより

36頁

新しいルール 会長・幹事

各クラブでは3年ごとに細則を見直す時期

39頁-46頁

ポリオ撲滅経過と今後の取り組み

《縦組み》

4頁-8頁

ルワンダ 教育と平和

9頁-12頁

福岡市 博多RC

ホームページの動画 約20分

13頁-19頁

14頁 奉仕の理想を求めて

16頁 LCからRCへ奉仕の守備位置を映して

17頁 茶道と仏教

■ 地区大会報告

大塚 博巳君



- 1、日 時 2014年2月8・9日
- 2、会 場 ホテルセンチュリー静岡、
懇親会：グランディエールブケ東海

3、本会議

(1) 志田洪顯 ガバナー

①ご挨拶

- ・この大会は「R I ロン・Dバートン 会長の提唱された テーマ」に沿って進めている。
その会長がご自身の代理として、台湾の劉 昭恵（ミュージック）女氏「第3460 地区パストガバナー」を指名してくれました。
- ・R I 次期会長は台湾の黄 其光（ゲイリーCKファン）氏であります。今後、台湾という地区との交流を考慮すると、その意味で今大会は大きな意義があります。
- ・米山梅吉記念館が5年後（東京オリンピックの前年）に50周年を迎える。今から全国の会員は、ぜひ来館してほしい。
- ・78クラブを公式訪問しての紹介
山梨中央RC：小数（11名）のクラブであるが、「ふるさとを描く子ども絵画展」には、毎年16000点の作品が応募されるほどの大事業を展開している。
- ・ポリオのワクチンは、1名 20円程度で予防接種できる。（40歳までは誰でも感染する恐れある）
※世界では、それを接種できない子供がいる。世界からこの伝染病をなくしたい。

- ・フィリピンレイテ島「義援金」の件
ガバナー会議 吉田さん、市川さんが、マニラRCを通して副大統領に直接手渡した。ありがとうございました。

(2) ガバナー“エレクト・ノミネー”のご紹介

- ①エレクト 岡本一八氏（浜松北RC）
（榊丸八真綿 取締役相談役）
- ②ノミネー 野口英一氏（甲府RC）
山梨日日新聞社・山梨放送グループ（15社）代表

4、記念講演

田中作次氏（八潮RC）2012～2013R I 会長

タイトル「ロータリーは私たちの誇り」

①検討しなければならない点

- ・会費、プログラム、例会日、事業内容、もっと改善する点はないか？
（地域社会のニーズ？ 若い世代の関心を引くには？etc）

②RCに入会する意義、RCとは何か、RCでのリーダーとは？

誰でも説明ができるようにしてほしい。

③ロータリーは：行動で表せ

大小ではなく、手をかけ、汗をかくことが地域社会に尽くすことである。
（1人の人間の成長に大きく貢献できる。）

④人として、企業人として気持ちを強く持たなければならない

困っている人に手を差し伸べる必要がある。平和につながる活動。

⑤ポリオの件 もう一歩のところまで来ている。（ロータリー財団の事業）

⑥ロータリーは“平和の追及・・・利益の追及ではない！”

5、以下、「地区大会の資料」を添付

次第・ご挨拶・決議事項等をご参照ください。

※尚、資料は「第2620地区」のHPからダウンロードできます。



<http://www.ri2620.gr.jp/2013/conference.html>

久島 正史君

地区大会に参加して、ロータリアンの思いが、ロータリークラブ、分区、日本、世界にボトムアップ的に繋がっていると感じました。



松田 真彦君

このたび、初めて地区大会に参加をいたしました。まず、驚いたのは会員数の多さ。こんなにも、ロータリアンが存在したのか、と組織の底力を大感しました。そして、若者が活躍されることが多い昨今においてロータリーでは、ご高齢の方が実に健勝されていること、そして、お若いことが印象的でした。戦後の日本は、敗戦から世界でも奇跡的な復興を遂げましたが、ロータリアンの諸先輩方に置かれましては、まさしく、この復興の現役メンバーとして多大な行動をされてきたことを実感しました。



(担当/池谷君)